

平成 14 年度論文・報告等執筆一覧

[企 画 部]

- ・ 鎌田高造・北原敏夫・新田浩・飯村友三郎：測量成果電子納品要領（案）について
「国土地理院時報」第 101 集, 1-7, 2003.
- ・ 川本清美・坂部真一：JICA 集団研修における PCM 手法の導入
「国土地理院時報」第 99 集, 103-112, 2002.
- ・ 高山直樹・北原敏夫・小菅豊・阿部馨：大縮尺数値地形図データの品質評価について
「国土地理院時報」第 101 集, 51-57, 2003.

[測 地 部]

- ・ 愛場政広・濱崎英夫：沖ノ鳥島の変位（1999 年 2 月～2002 年 2 月）
「国土地理院時報」第 99 集, 21-26, 2002.
- ・ 大滝三夫：水準測量におけるレフラクション誤差の影響 「国土地理院時報」第 101 集, 9-21, 2003.
- ・ 佐藤秀幸・湯通堂亨・門脇俊弘・石原操・藤原智：広帯域 MT 固定連続観測システムを用いた地殻比抵抗モニタリング 「国土地理院時報」第 101 集, 23-32, 2003.
- ・ 白井宏樹・錦輝明・佐藤秀幸・宇津木充・仲井博之・森田美好・門脇俊弘・湯通堂亨：磁気図 2000.0 年値の作成 「国土地理院時報」第 99 集, 1-8, 2002.
- ・ 中川弘之・和田弘人・吉川忠男・志茂久男・安藤久・黒石裕樹・畑中雄樹・重松宏実・田中和之・福田洋一：Development of a New Japanese Geoid Model, "GSIGEO2000"
「国土地理院報告」第 49 巻, 1-10, 2003.
- ・ 高島和宏・栗原忍：Tsukuba 32-m VLBI Station 「IVS 2002 Annual Report」
- ・ 宮川康平・栗原忍：Tsukuba VLBI Correlator 「IVS 2002 Annual Report」
- ・ 箱岩英一：河川・水路・港湾の基準面について 「国土地理院時報」第 99 集, 9-19, 2002.

[測 図 部]

- ・ 飯田洋・矢来恵美・野口真弓・松尾馨：IKONOS 単画像を用いた 2 万 5 千分 1 地形図の作成及び修正 「国土地理院時報」第 99 集, 39-47, 2002.
- ・ 飯田洋・渡辺信之・佐藤潤・小荒井衛：高分解能 SAR を利用した災害状況把握
「国土地理院時報」第 99 集, 49-56, 2002.
- ・ 大野裕幸・田村栄一：2 万 5 千分 1 地形図ベクトルデータによる DEM 作成方法について
「国土地理院時報」第 99 集, 33-38, 2002.
- ・ 金井正夫：「1:5,000,000 日本とその周辺」の作成に関する調査研究
「国土地理院時報」第 99 集, 27-32, 2002.
- ・ 佐藤潤・飯田洋・宮脇正典：地形計測における航空機搭載 SAR の活用 ―三宅島 2000 年噴火時の事例― 「写真測量とリモートセンシング」Vol.41, No.4, 61-65, 2002.
- ・ 佐藤潤：A Recent Result of Topographic Measurements by the GSI's Airborne SAR: A Case Study of the Volcanic Island of Miyake-jima 「国土地理院報告」第 49 巻, 39-46, 2003.
- ・ 佐藤潤：リモートセンシングによる空間データ取得と国土管理への応用
「第 21 回測量技術講演会資料」(国土地理院近畿地方測量部・日本測量協会関西支部), 33-44, 2002.

- ・藤井稔：2万5千分1地形図（ベクトル型）の検査方法について
「国土地理院時報」第101集, 45-50, 2003.

[地理調査部]

- ・市川清次：ハザードマップと防災・災害地理情報 「建設関連業月報」Vol.22, No.251, 16-20, 2002.
- ・市川清次：防災地理情報とハザードマップ 「第7回中国地区測量技術講演会集」, 2002.
- ・市川清次：防災と地図 ―ハザードマップ作成のための防災地理情報―
「第21回近畿測量技術講演会資料」, 45-51, 2002.
- ・市川清次：新世代のレーザスキャナ技術と斜面微地形判読による危険斜面抽出技術の開発
「APERIF 都市域斜面防災の新世紀 地震豪雨時の高速長距離土砂流動現象の解明（APERIF）公開シンポジウム」, 47-64, 2002.
- ・市川清次：航空レーザー測量による斜面計測とレーザ等高線図による斜面微地形分類
「APERIF 都市域斜面防災の新世紀 地震豪雨時の高速長距離土砂流動現象の解明（APERIF）公開シンポジウム」, 245-262, 2002.
- ・岩橋純子：Mean slope angle frequency distribution and size frequency distribution of landslide masses in Higashikubiki area, Japan 「Geomorphology」Vol.50, No.4, 349-364, 2003.
- ・岩橋純子：Landform analysis of mass movements in Higashikubiki area of Niigata prefecture
「地理学評論」Vol.76, No.5, 印刷中, 2003.
- ・横山芳春・大井信三・中里裕臣・安藤寿男：バリアー島に規制された堆積相と地形形成：東茨城台地西縁地域における下総層群“見和層”を例に 「堆積学研究」Vol.55, 17-28, 2002.
- ・木佐貫順一：地図から災害を知る 「茨測協」第60号, 7-10, 2002.
- ・木佐貫順一：越谷の地形 旧河道の変貌 「地理」, 投稿中, 2003.
- ・木村佳織：金沢南方の段丘面編年と変動地形 「国土地理院時報」第99集, 67-75, 2002.
- ・坂井尚登：日本の城-5 姫路城 ―兵庫・華麗なる世界文化遺産の城―
「地図ニュース」No.358, 20-24, 2002.
- ・坂井尚登：日本の城-6 霧山（多気山）城 ―三重・山中の都―
「地図ニュース」No.361, 19-22, 2002.
- ・坂井尚登：日本の城-7 モシリヤチャシ ―釧路・アイヌの人々が築いた城―
「地図ニュース」No.363, 19-22, 2002.
- ・坂部真一・石浜佐栄子：高分解能衛星データの災害時利用に関する調査・研究2
「国土地理院時報」第99集, 57-66, 2002.
- ・佐藤潤・政春尋志・関口辰夫・山後公二：航空レーザ測量の今 「測量」, 投稿中, 2003.
- ・山後公二：『数値地図 5m メッシュ（標高）』の刊行について 「地図ニュース」, 投稿中, 2003.
- ・関口辰夫・佐藤信男：月山北部・立谷沢川流域の地すべり地形
「地すべり」Vol.40, No.1, 印刷中, 2003.
- ・関口辰夫・佐藤浩・市川清次・小白井亮一：Mapping of Micro Topography on Hill Slopes Using Airborne Laser Scanning 「国土地理院報告」第49巻, 47-57, 2003.
- ・関口辰夫：Geomorphological features and distribution of Full-Depth Snow Avalanche occur in heavy snow region, Japan 「Zeitschrift fur Geomorphologie」, 印刷中, 2003.

- ・地球地図国際運営委員会事務局：測量・地図整備に関するヨハネスブルクサミットの成果と地球地図の今後の展開 「測量」 Vol.53, No.4, 印刷中, 2003.
- ・政春尋志：レーザスキャナ 小特集「新しいエアボーンリモートセンサ」2.全体レビュー 2-3.レーザスキャナ 「写真測量とリモートセンシング」 Vol.41, No.4, 11, 2002.
- ・政春尋志：地球地図のヨハネスブルクサミットへの取組とその成果 「地図」, 投稿中, 2003.
- ・政春尋志：地図作成に関わる新技術 「地図学会 40 年のあゆみ」, 投稿中, 2003.
- ・政春尋志：第 6 回全地球空間データ基盤会議及び第 9 回地球地図国際運営委員会「地図」, 投稿中, 2003.
- ・政春尋志：間違った地図投影法解説 — 『地図学用語辞典（増補改訂版）』投影法関係項目の誤りについて— 「地図」, 投稿中, 2003.
- ・政春尋志・秋山實：Publicity Activities of Global Mapping at Johannesburg Summit and Outcomes of the Summit 「国土地理院報告」第 49 巻, 59-69, 2003.
- ・山根清一：1/1 万湖沼図「シラルトロ沼」を刊行 「地図の友」 Vol.44, No.10, 2-5, 2002.

[地理情報部]

- ・明野和彦・星野秀和・安藤暁史：旧版地図を利用した時空間データセットの試作 「国土地理院時報」, 第 99 集, 89-102, 2002.
- ・林孝・高桑紀之：地理情報標準と地理情報クリアリングハウス 「土木技術」57 巻 7 号, 82-88, 2002.

[測地観測センター]

- ・雨宮秀雄：電子基準点を用いた位置情報サービス —リアルタイムデータの提供— 「JACIC 情報」67 号, 28-32, 2002.
- ・西修二郎・松村正一・呉新華・田中穰：御前崎地方の上下変動について — GPS と水準測量を比較して— 「日本測地学会第 98 回講演会予稿集」, 115-116, 2002.
- ・西田文雄：GPS 連続観測システム —地殻変動観測への応用— 「JACIC 情報」67 号, 24-27, 2002.
- ・西田文雄：防災情報に関する国土地理院での取り組み —電子基準点による防災情報— 「JACIC 情報」69 号, 38-42, 2003.
- ・畑中雄樹：GEONET 新解析結果による座標値の季節変動成分の評価（その 2） 「日本測地学会第 98 回講演会予稿集」, 145-146, 2002.
- ・畑中雄樹：日本周辺の大気遅延勾配推定値の長期的評価 「日本測地学会第 98 回講演会予稿集」, 143-144, 2002.
- ・畑中雄樹：GPS による地殻変動観測と季節変動 「月刊地球」2 月号, 103-108.
- ・畑中雄樹・飯塚豊久・澤田正典・山際敦史・菊田有希枝：Improvement of the Analysis Strategy of GEONET 「国土地理院報告」第 49 巻, 11-37, 2003.
- ・松村正一：最近の GPS 技術 「建設関連月報」6 月号, 10-13, 2002.
- ・松村正一：リアルタイム電子基準点 「測量」8 月号, 13-20, 2002.
- ・松村正一：リアルタイム GPS 測量について 「全測連」秋季号, 17-25.
- ・松村正一：電子基準点を利用したリアルタイム測位 「電波航法」第 44 号, 8-12.
- ・山際敦史：GPS とは 「JACIC 情報」67 号, 64-68, 2002.

- ・山際敦史・畑中雄樹・丸山一司・菅富美男・石本正芳：新 GEONET の構築 ―リアルタイム化・高精度化に向けて― 「日本測地学会第 98 回講演会予稿集」, 139-140, 2002.

[地理地殻活動研究センター]

- ・今給黎哲郎：「東海地震」 想定震源域の見直しと最近の東海地方の地殻変動について
「日本測量協会関東支部報」第 22 号（夏季号）.
- ・宇根寛・梶川昌三・佐藤浩：Global Map for Land Use/Cover Change Study
「Land Use Changes in Comparative Perspective」, 1-19.
- ・奥山哲・竹本修三・村上亮・飛田幹男・藤原智・中川弘之・矢来博司：伊豆大島島内の局所的地殻変動 ― D-InSAR を用いて― 「月刊地球」号外 No.39, 90-95.
- ・小沢慎三郎・宮崎真一・畑中雄樹・今給黎哲郎・海津優・村上亮：Characteristic silent earthquakes in the eastern part of the Boso peninsula, Central Japan 「Geophysical Research Letter」.
- ・小沢慎三郎・村上亮・海津優・多田堯・鷺谷威・畑中雄樹・矢来博司・西村卓也：Detection and Monitoring of Ongoing Aseismic Slip In the Tokai Region, Central Japan
「SCIENCE」Vol.298, 1009-1012.
- ・小沢慎三郎・村上亮・海津優・多田堯・鷺谷威・畑中雄樹・矢来博司・西村卓也：東海地方における非地震性滑りの検出とその現状 「月刊地球」Vol.25, No.1, 70-74.
- ・小澤拓・Shibuya Kazuo・Koichiro Doi・Aoki Shigeru：Detection of grounding line and vertical displacement of Ice shelf by SAR Interferometry -A case study for the Stanjukovich Ice Shelf, East Antarctica, using ERS tandem SAR data- 「Polar Geoscience」No.15, 112-122.
- ・海津優：多田さんの思い出 「月刊地球」Vol.25, No.2, 179-182.
- ・金子隆之・宗包浩志・Martin J. Wooster・鍵山恒臣：有珠火山 2000 年噴火：赤外画像で探る金毘羅山火山口群・西山火山口群の活動関係 「火山」Vol.47, No.4, 289-296, 2002.
- ・熊木洋太：主題図，日本国際地図学会 40 周年記念出版物「40 年のあゆみ」.
- ・熊木洋太：児童生徒地図作品展から総合的な学習を考える 「地理」47 巻 9 月増刊, 102-103.
- ・熊木洋太・今給黎哲郎：日本の位置表示法の変更 「第四紀研究」42, 1, 49-53.
- ・黒石裕樹：On the application of downward continuation of surface gravity onto the reference ellipsoid, to the geoid determination in mountainous areas
「Technical Reports Department of Geodesy and Geoinformatics」.
- ・黒石裕樹・安藤久・福田洋一：A new hybrid geoid model for Japan, GSIGEO2000
「Journal of Geodesy」.
- ・黒木貴一・長谷川裕之：1999 年広島豪雨による斜面崩壊と斜面地形との関係 ―観音台地区を例として― 「応用地質」.
- ・小荒井衛・長谷川裕之・飯田洋・松尾馨・渡辺信之・鈴木弘：写真測量技術で面的にとらえた有珠山火山活動に伴う地表変動 「火山」Vol.47, No.3, 139-150.
- ・小白井亮一：デジタル地図と GIS, 日本国際地図学会 40 周年記念出版物「40 年のあゆみ」.
- ・小白井亮一：GPS 干渉測位の考え方 「写真測量とリモートセンシング」.
- ・小白井亮一：書評 地図の本棚 大竹政和、平朝彦、太田陽子編・日本海東縁の活断層と地震テクトニクス 「地図ニュース」No.363, 23.

- ・ 小白井亮一：Did you feel It? ―地震防災に関する米国地質調査所のユニークな取り組み―
「国際建設防災」第 12 号, 130-133.
- ・ 鷺谷威：明治期以降の歪み集中帯 「日本海東縁の活断層と地震テクトニクス」, 133-150.
- ・ 鷺谷威：GPS で見た 2000 年鳥取県西部地震 「月刊地球」号外 No.38, 194-202.
- ・ 鷺谷威：日本列島周辺で発生した大地震の静的断層モデル ―多田堯先生の業績と 1918 年大町地震の断層モデル― 「月刊地球」Vol.25, No.1, 51-58.
- ・ 鷺谷威・西村卓也・畑中雄樹・福山英一・William L Ellsworth：2000 年鳥取県西部地震に伴う地殻変動と断層モデル 「地震」第 2 輯, 54, 523-534.
- ・ 鷺谷威・西村卓也・飯尾能久・多田堯：Crustal Deformation around the northern and central Itoigawa-Shizuoka Tectonic Line 「Earth Planets Space」54, 1059-1063.
- ・ 鷺谷威・西村卓也・村上亮・今給黎哲郎・赤坂望：地殻活動観測データ総合解析システムの開発
「国土地理院時報」第 101 集, 33-43, 2003.
- ・ 佐藤浩・建石隆太郎：Land cover classification in Southeast Asia using near and short wave infrared bands 「International Journal of Remote Sensing」.
- ・ 佐藤浩・阿部馨・大滝修：GPS-measured land Subsidence in Ojiya City, Niigata Prefecture, Japan
「Engineering Geology」67, 379-390.
- ・ 佐藤浩・建石隆太郎：Proposal for Global Land Cover Guideline Legend based on FAO's LCCS
「Asian Journal of Geoinformatics」Vol.3, No.2, 35-46.
- ・ 竹澤健・黒木貴一・神谷泉：細密数値情報と JMC マップを用いた土地利用変化パターンの GIS による分析 ―一般低層住宅を例として― 「GIS ―理論と応用」Vol.10, No.1, 121-128.
- ・ 遠田晋次・Ross Stein・鷺谷威：Evidence from the 2000 Izu Islands swarm that stressing rate governs seismicity 「Nature」(2002 年 9 月 5 日号).
- ・ 飛田幹男：「測量技術奨励賞」受賞論文の紹介 世界測地系移行のための座標変換ソフトウェア "TKY2JGD" 「測量」第 52 巻, 第 9 号, 35.
- ・ 飛田幹男：合成開口レーダー干渉法の高度化と地殻変動解析への応用
「測地学会誌」Vol.49, No.1, 1-23.
- ・ 西村卓也：伊東沖と岩手山における火山性力源による地震のトリガリング
「地学雑誌」Vol.111, No.2, 166-174.
- ・ 西村卓也・村上亮・小沢慎三郎・石本正芳・鷺谷威・矢来博司・多田堯・海津優・鵜川元雄：三宅島 2000 年噴火前後の地殻変動と変動源の推定 ― 1983 年噴火後から 2001 年 5 月までの収縮・膨張源― 「東京大学地震研究所彙報」第 77 号, 第 1 冊, 55-65.
- ・ 橋本学・鷺谷威：日本列島の地殻変動と地震・火山・テクトニクス ―多田堯先生を偲ぶ―
「月刊地球」Vol.25, No.1, 3-14.
- ・ 水越博子・安仁屋政武：数値等高線データを用いた斜面計測手法
「国土地理院時報」第 99 集, 77-87, 2002.
- ・ Juliette Artru・Vesna Ducic・Philippe Lognonne・村上亮・Hiroo Kanamori：Tsunami in the open ocean detected and imaged by GPS ionospheric monitoring 「Nature」.
- ・ 村上亮：三宅島の地下で何が起きているのか? ―降下ピストンの強制冷却による三宅島の脱ガスモデル― 「月刊地球」Vol.25, No.2, 91-96.

- ・村上亮：新しい地殻変動観測技術の噴火予知の適用 ―新技術による実績と明らかになった課題「火山」,Vol.48, No.1, 2003.
- ・村上亮：1986 年噴火以降の伊豆大島の地殻変動 ― 1986 年噴火の余効過程と次の噴火に向けての準備過程― 「月刊地球」号外 No.39, 96-101.
- ・矢来博司・中川弘之・飛田幹男・村上亮・藤原智：RADARSAT/SAR データ干渉処理による地殻変動検出の試み ― 2000 年鳥取県西部地震の地殻変動― 「地震」第 2 輯, 54, 535-546.

[地方測量部等]

- ・丸山弘通：ケニアの測量事情について 「地図」 Vol.40, No.3, 21-28, 2002.

※執筆者名、題名、論文名、発表項の順に掲載

注) この一覧は、国土地理院各部、各センター、各地方測量部、支所及び各測地観測所に対する照会に基づき作成した。